

いばらきネットモニター 「図書館」に関する意識調査

1 調査目的

このアンケートは、図書館の利用者が年々減少していることから、住民の「図書館」に対する意識等を調査し、これからの図書館サービス向上の参考にするために実施しました。

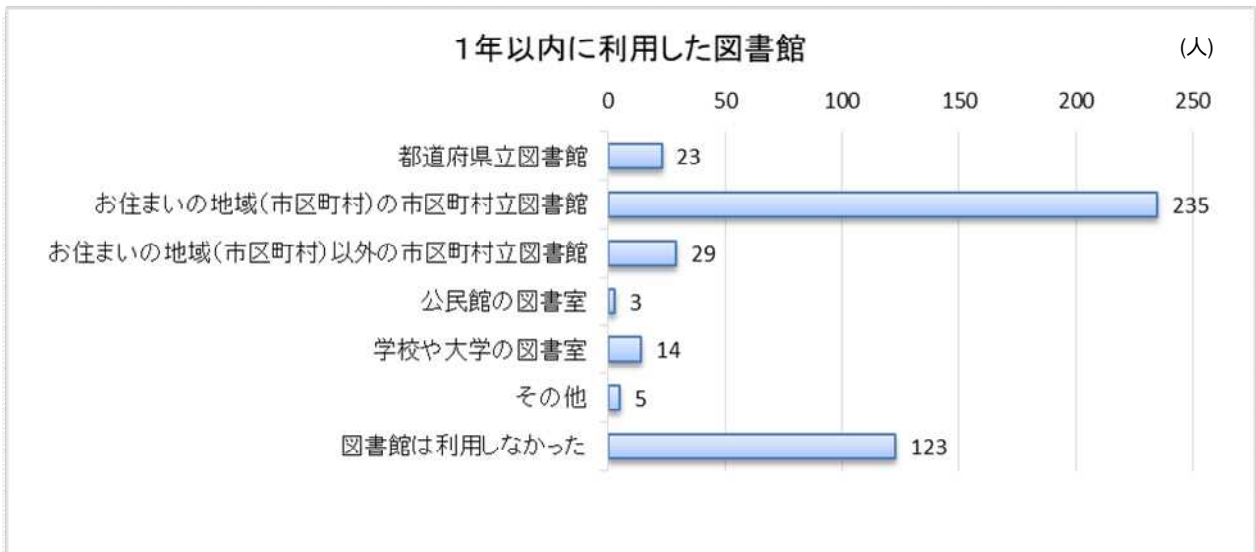
2 結果の概要

- ・ 図書館を利用している方については、居住地域の市区町村立図書館を利用する方が最も多い。
- ・ 今回のアンケート回答者の図書館利用状況は、約3割が月2、3回程度以上利用している一方、約3割が1年以内の利用がなく、利用頻度が低い方(年数回利用)を併せると、約半数となる。
- ・ 図書館に求められていることは、実用書やベストセラー・趣味等に関する資料の充実や開館時間の延長、施設整備という意見が多い。
- ・ 県立図書館に求められていることは、所在地(水戸市)から遠方に居住する方でも図書館サービスを受けられるような取組みが必要であるという意見が多い。

最初に、図書館全般についてお伺いします。(問1から問8まで)
(ここでいう「図書館」とは、都道府県立図書館、市区町村立図書館、学校図書館、大学図書館、公民館の図書室などを含みます。)

【問1】(図書館利用の有無)

あなたが、ここ1年以内に利用した図書館はどこですか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。(n=432)

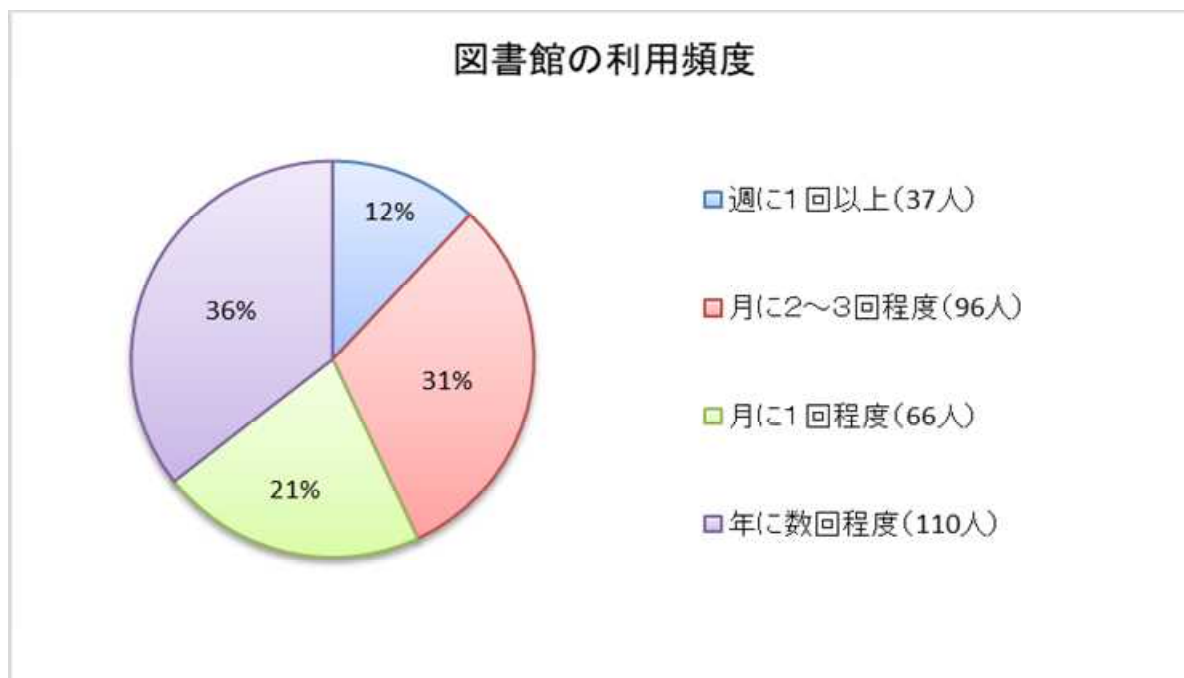


図書館利用者の中でも、居住地域の市区町村立図書館の利用が最も多い。
アンケート回答者のうち、約29%は、図書館を利用していない。

【問2】(図書館の利用頻度)

(問1で「1 都道府県立図書館」「2 お住まいの地域(市区町村)の市区町村図書館」「3 お住まいの地域(市区町村)以外の市区町村立図書館」「4 公民館の図書室」「5 学校や大学の図書室」「6 その他」と回答された方にお伺いします)

あなたは、ここ1年以内にどのくらいの頻度で図書館を利用しましたか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。(n=309)

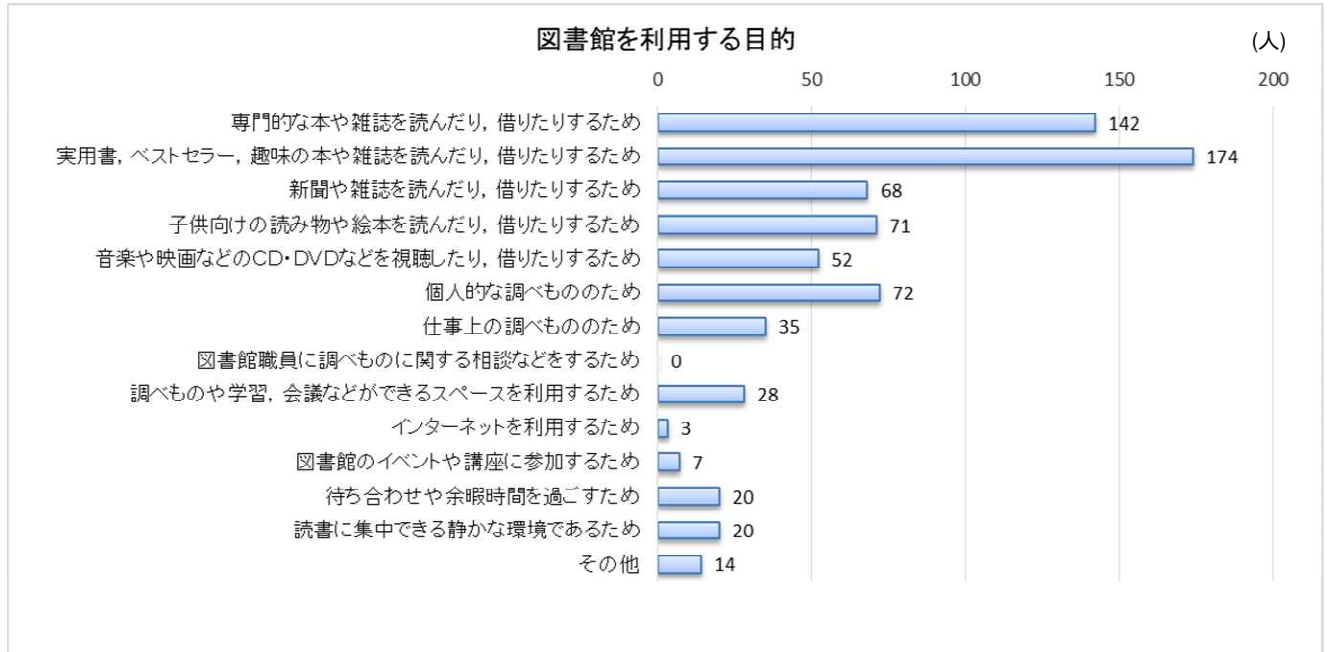


図書館利用者のうち、約64%は月に数回利用しており、日常的に活用していることが伺える。ここ1年以内に図書館を利用したものの、年に数回程度が36%であり、図書館を利用する頻度が少ない方もいることが分かる。

【問3】(図書館の利用目的)

(問1で「1 都道府県立図書館」「2 お住まいの地域(市区町村)の市区町村図書館」「3 お住まいの地域(市区町村)以外の市区町村立図書館」「4 公民館の図書室」「5 学校や大学の図書室」「6 その他」と回答された方にお伺いします)

あなたは、主にどのような目的で図書館を利用しますか。次の中から当てはまるものを最大3つまで選んでください。(n=309)



図書館を利用する目的としては、実用書・ベストセラー・趣味の本や専門書等を利用するためであることが圧倒的に多い。

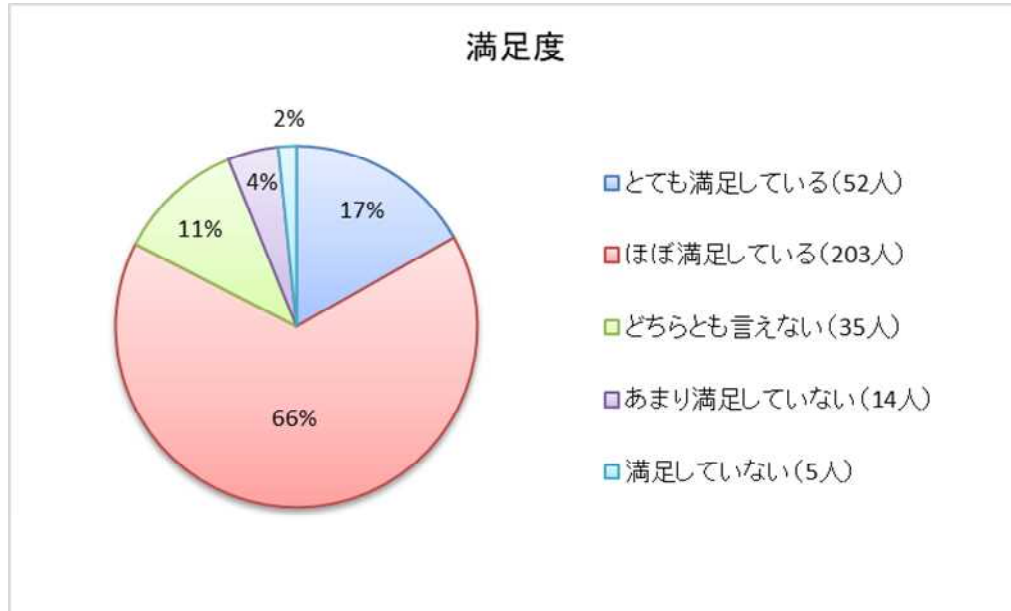
新聞・雑誌等の利用や子供向けの読み物や絵本、CDやDVD等の視聴覚資料を利用する方も多い。

図書館で調べものをする方もいるが、図書館職員への相談(レファレンスサービス)を主な目的としている方はいない。

【問4】(図書館の満足度)

(問1で「1 都道府県立図書館」「2 お住まいの地域(市区町村)の市区町村図書館」「3 お住まいの地域(市区町村)以外の市区町村立図書館」「4 公民館の図書室」「5 学校や大学の図書室」「6 その他」と回答された方にお伺いします)

あなたは、図書館を利用してどのような感想をお持ちになりましたか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。(n=309)

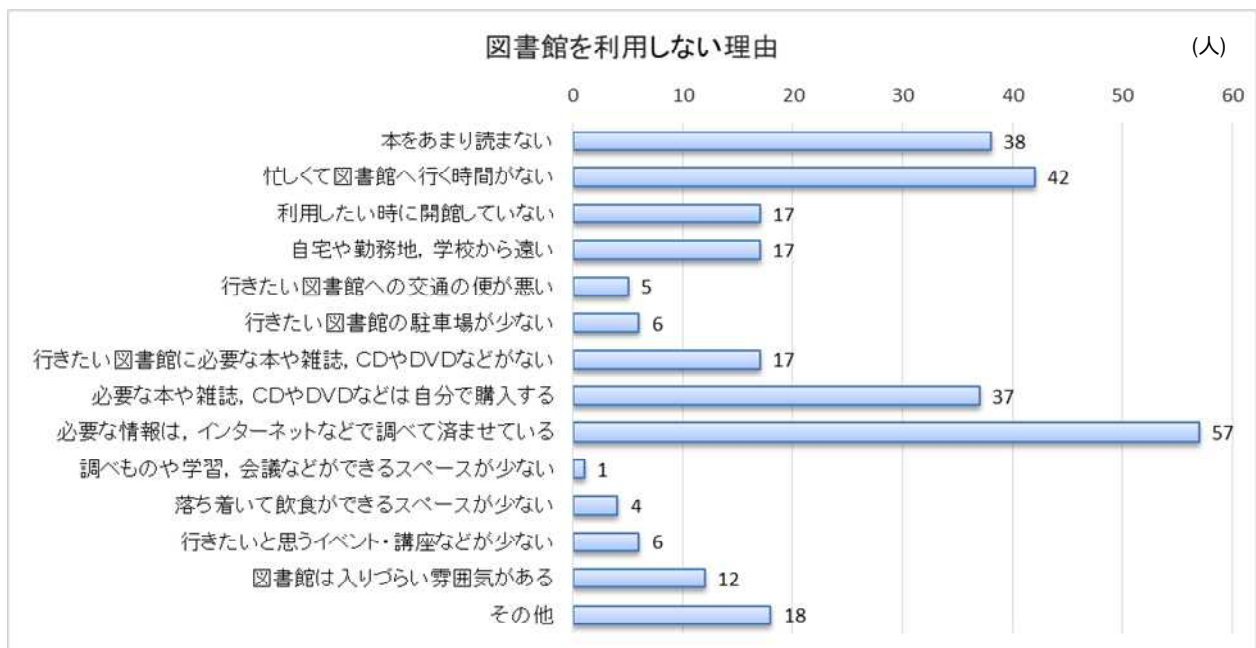


「とても満足している」「ほぼ満足している」という回答が合わせて83%であり、利用している図書館の利用者サービスについては、概ね満足していることが伺える。

【問5】(図書館を利用しない理由)

(問1で「7 図書館は利用しなかった」と回答された方にお伺いします)

あなたが、図書館を利用しない理由は何ですか。次の中から当てはまるものを最大3つまで選んでください。(n=123)



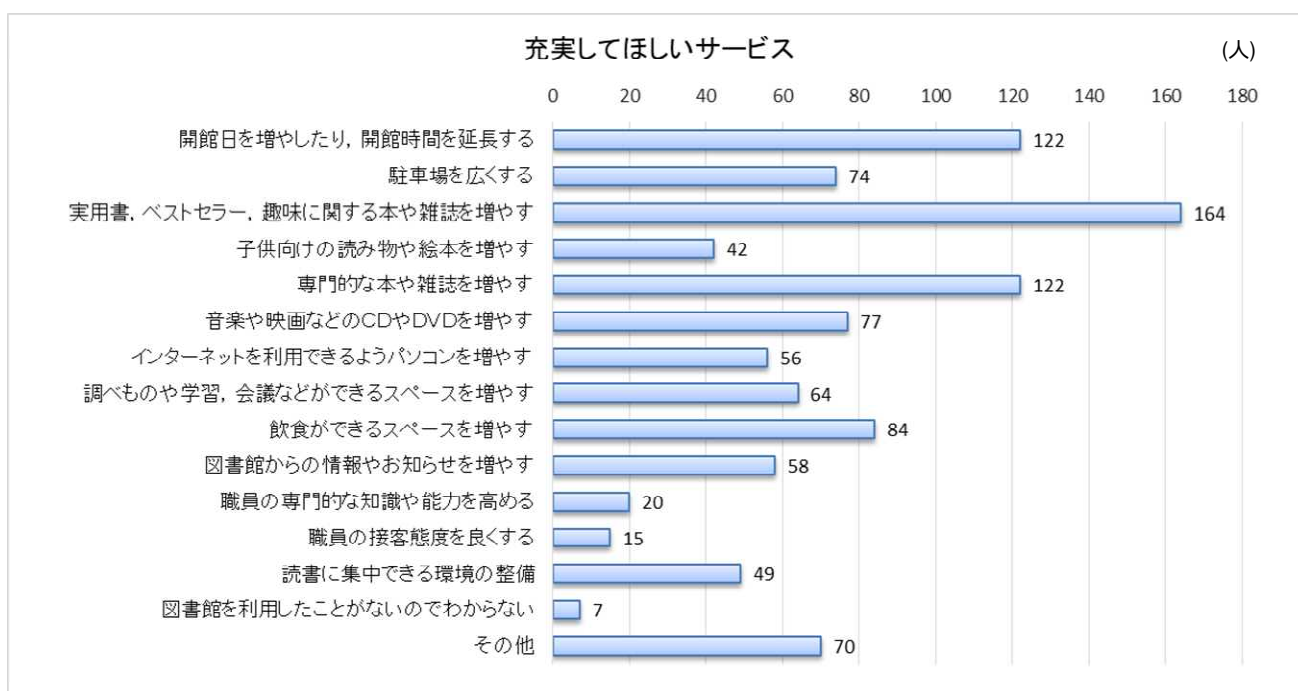
必要な情報はインターネットで収集したり、必要な本は自分で購入したり、読書する習慣がないなど、図書館を利用する必要性を感じていない方が多いことが分かる。

忙しくて図書館へ行く時間がなかったり、利用したい時間に開館していなかったり、図書館が遠いなど、物理的な理由で利用できない方も多い。

その他として、「新型コロナウイルス感染症の影響により、外出を控えた」という意見があった。

【問6】(図書館に対するニーズ)

図書館をもっと多く利用するために充実してほしいサービスや設備などは何ですか。次の中から当てはまるものを最大3つまで選んでください。(n=432)



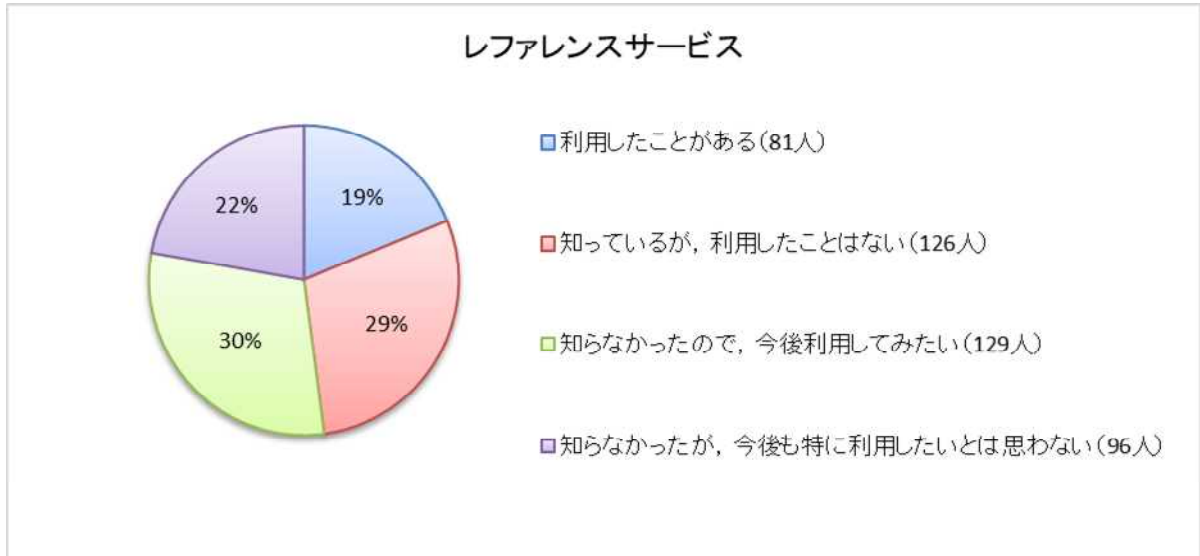
図書館に求めるものとしては、実用書・ベストセラー・趣味の本や専門書等、及びCDやDVD等の視聴覚資料などの資料の充実が一番多い。

開館日の増や開館時間の延長、飲食や学習スペースの確保など、施設整備の充実を求める意見も多い。

その他として、電子書籍貸出サービスの推進や資料の返却窓口の増設などを求める意見があった。

【問7】(図書館サービスの認知度1)

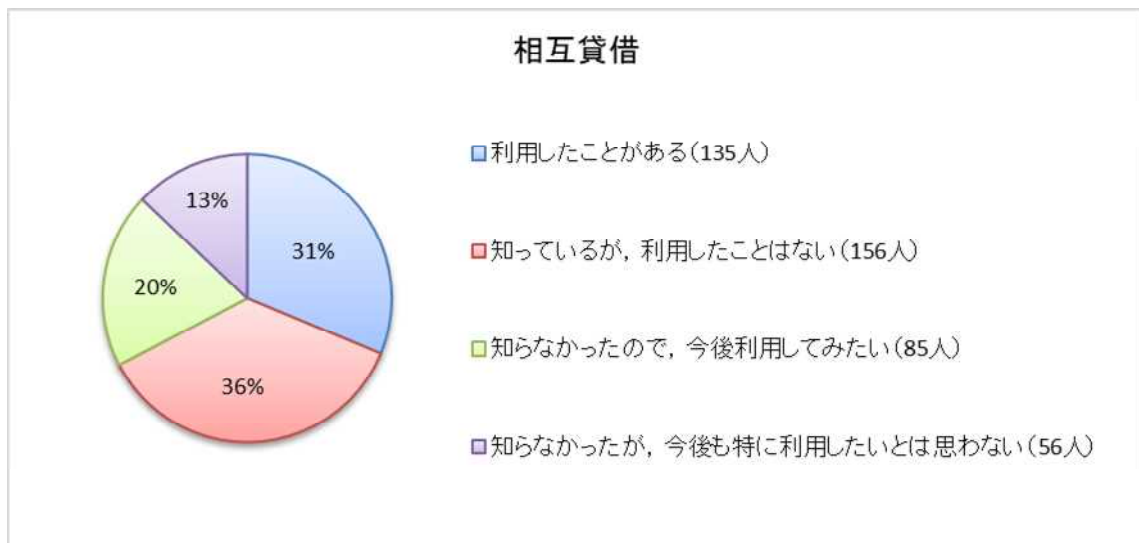
図書館では、職員が調べものの手伝いをしたり、相談に応じる「レファレンスサービス」を行っています。あなたはこの「レファレンスサービス」を利用したことがありますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。(n=432)



レファレンスサービスの利用者は19%であり、あまり活用されていないことが伺える。レファレンスサービスを知らない方が52%、知っているが利用したことがない方が29%であり、利用したことがない方は合計81%と非常に多い。

【問8】(図書館サービスの認知度2)

図書館では、その図書館にない本を他の図書館から取り寄せて利用者に貸し出す「相互貸借」を行っています。あなたはこの「相互貸借」を利用したことがありますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。(n=432)

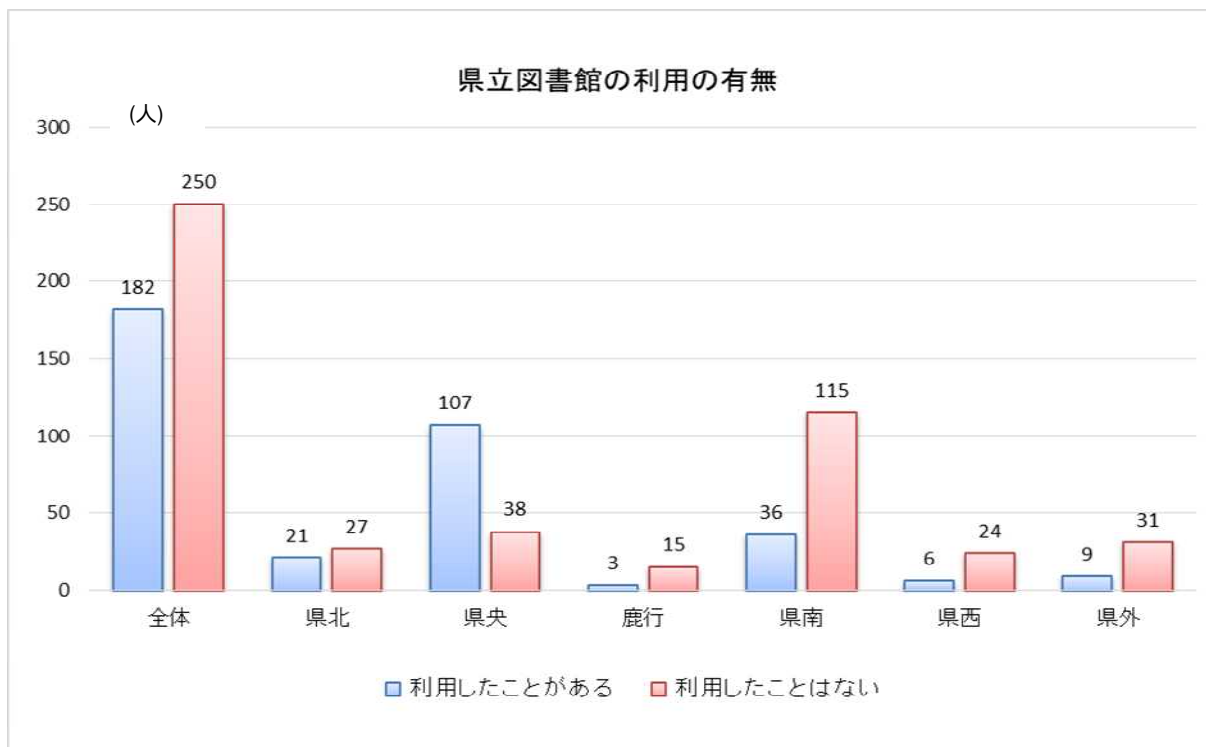


相互貸借の認知度は67%ほどあるが、利用者は31%に留まっている。知っているが利用したことはない方や相互貸借を知らなかった方が多い。

次に、「茨城県立図書館（茨城県水戸市三の丸1丁目5番38号。以下「県立図書館」という）についてお伺いします。（問9から問13まで）

【問9】（県立図書館の利用頻度）

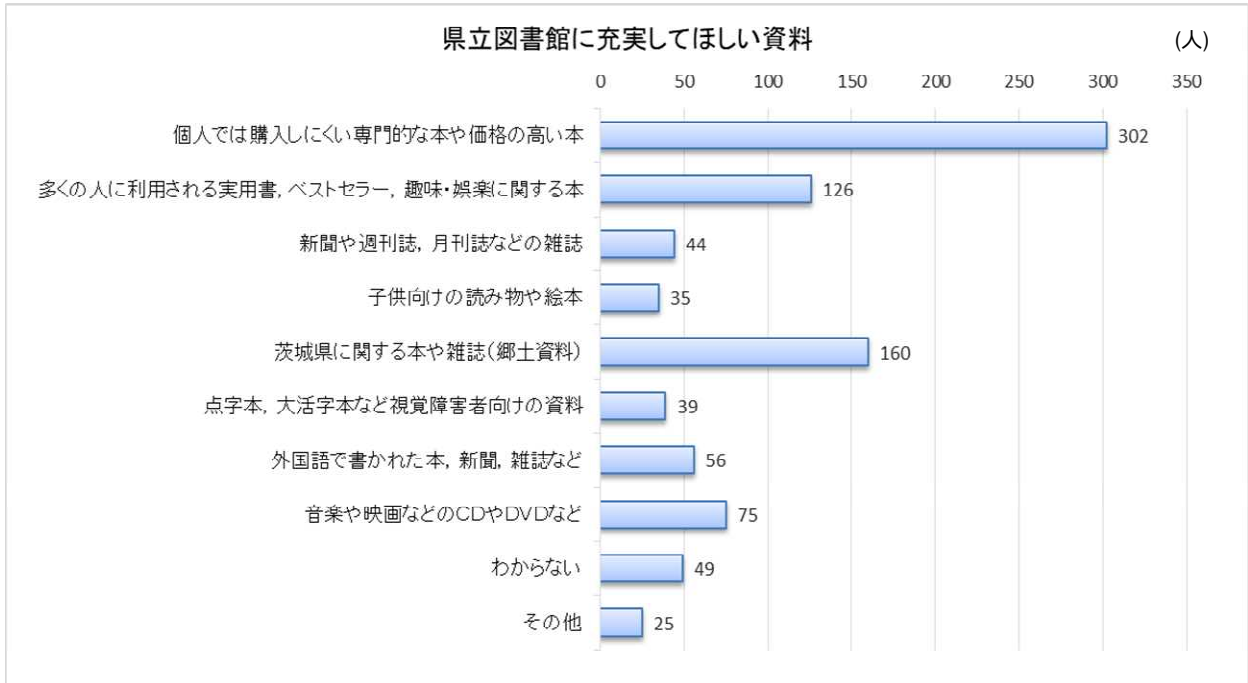
あなたは、今までに県立図書館を利用したことがありますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。（n=432）



県立図書館は水戸市に所在するため、県央・県北地域の利用者が多く、鹿行・県南・県西地域の方からは遠いという意見が多い。

【問 10】(県立図書館に対する意識 1)

県立図書館では、役割分担の考え方から、市町村立図書館ではあまり購入しない専門的な本や雑誌などを重点的に購入しています。今後、県立図書館にどのような本や資料などを充実してほしいですか。次の中から当てはまるものを最大3つまで選んでください。(n=432)

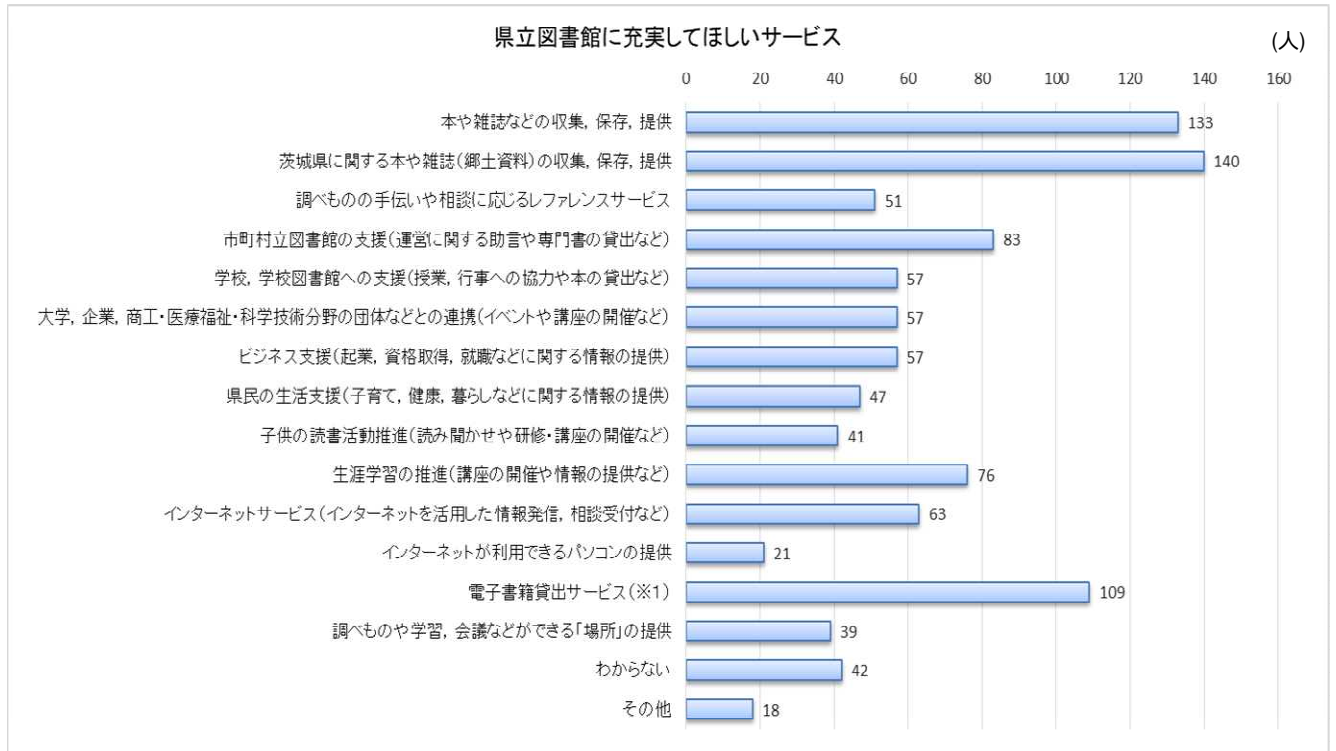


県立図書館に充実してほしい資料は、専門的な本や価格の高い本という意見が一番多く、次いで茨城県に関する郷土資料という意見が多い。

実用書・ベストセラー・趣味の本は、利用する方も多いことから、さらなる資料の充実を求める意見も多い。

【問 11】(県立図書館に対する意識 2)

県立図書館では、調べものの手伝いや相談への対応、市町村立図書館などへの支援などに力を入れています。今後、県立図書館にどのようなサービス・取組みなどを充実してほしいですか。次の中から当てはまるものを最大3つまで選んでください。(n=432)



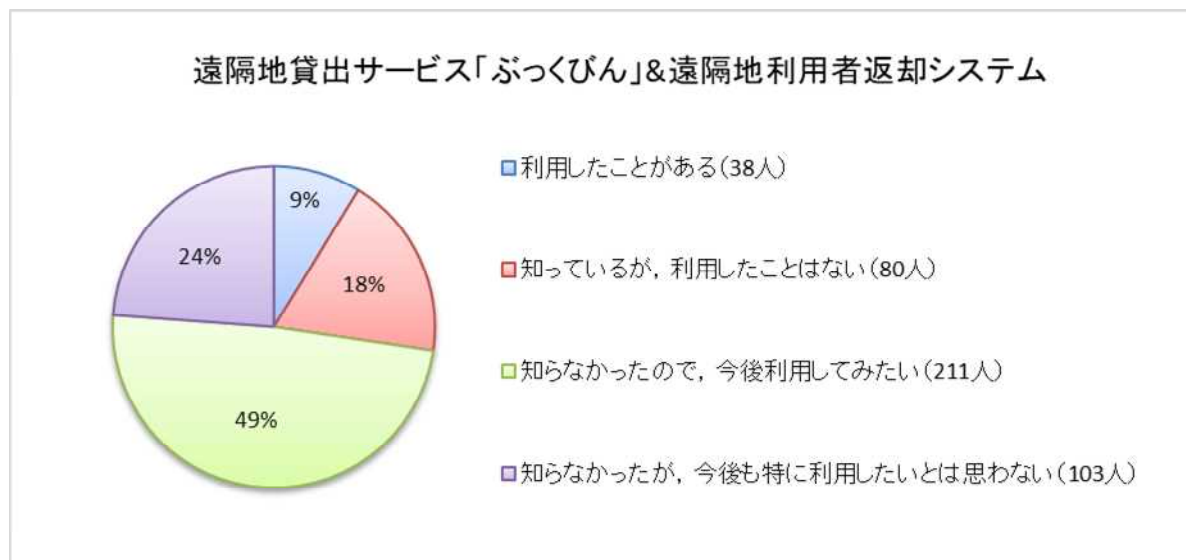
1 「電子書籍貸出サービス」...利用者が図書館専用のサイトにアクセスし、貸出期限内に電子書籍をインターネット上で閲覧できるもの。

県立図書館に充実してほしいサービスとしては、茨城県に関する郷土資料等の収集・保存・提供が最も多い。

県立図書館は水戸市にあり、遠方からの来館が困難である方も多いことから、電子書籍貸出サービスを求める意見も多い。

【問 12】(県立図書館サービスの認知度)

県立図書館では、県立図書館の本や雑誌などを自宅などからインターネットで予約し、最寄りの図書館などで借りることができる「遠隔地貸出サービス(ぶっくびん)」や県立図書館の本を最寄りの図書館などで返すことができる「遠隔地利用者返却システム」を行っています。あなたはこの「遠隔地貸出サービス(ぶっくびん)」や「遠隔地利用者返却システム」を利用したことがありますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。(n=432)



遠隔地貸出サービス「ぶっくびん」や遠隔地利用者返却システムについては、知らなかった方が73%であり、まだ認知度が低いことが伺える。

【問 13】(自由意見)

茨城県立図書館について、お気づきの点がありましたら、自由にご意見をお聞かせください。

< 主なご意見 >

- ・せっかくの施設・設備なので、近くに住んでいない人でも利用しやすいようにしてほしい。
- ・存在を知らなかった。最寄りの小さな図書館とは量が違うと思うので、もっと広く周知アピールしていくべきだと思う。図書館をもっと身近な存在にしていってほしい。
- ・時間・場所に縛られない貸出の推進を今後もして頂きたい。
- ・県立ということ言えば、図書館から遠い場所に住んでいる県民も恩恵が受けられるようにオンラインでのサービスを拡充していった方が良いように思います。
- ・毎週、毎月、蔵書内容(新着だけでなく、既存の蔵書も)の広報を全県民に行ってください。
- ・各自治体の図書館と連携して、より幅広い蔵書数となるようにしてほしい。
- ・読みたかった専門書もあり大変助かります。これからも利用させていただきます。
- ・図書館が本を借りるだけの場というのは終わりました。県立図書館は環境の良い場所にあるので、その立地を生かした人が集える空間になることを目指して欲しいなと思っています。
- ・県立図書館の役割は、茨城県にまつわる歴史資料などの希少性・専門性が高い図書の保存管理などがメインになるのではと予想します。

など、170件のご意見がありました。

3 調査の概要

(1) 調査形態

調査時期：令和2年11月2日(月)～11月15日(日)

調査方法：インターネット(アンケート専用フォームへの入力)による回答

モニター数：764名(県内外在住者)

回収率：56.5%(432名)

回答者の属性：以下の通り。ただし、百分率表示は、小数点以下第二位を四捨五入しているため、個々の比率の合計は100%にならない場合がある。

		人数(人)	比率(%)
全体(n)		432	100.0
地域別	県北	48	11.1
	県央	145	33.6
	鹿行	18	4.2
	県南	151	35.0
	県西	30	6.9
	県外	40	9.3
性別	男性	201	46.5
	女性	231	53.5
性・年齢別	16～19歳	8	1.9
	20～29歳	36	8.3
	30～39歳	81	18.8
	40～49歳	112	25.9
	50～59歳	93	21.5
	60～69歳	52	12.0
	70歳以上	50	11.6
職業別	自営業	32	7.4
	会社員	155	35.9
	団体職員	13	3.0
	公務員	17	3.9
	主婦・主夫	97	22.5
	学生	17	3.9
	無職	58	13.4
	その他	43	10.0

(2) 担当課

茨城県教育庁総務企画部生涯学習課(振興グループ)

電話：029-301-5318 E-mail：shogaku1@pref.ibaraki.lg.jp